

Facebook における注目投稿閲覧システム

研究系卒研

0923087 須藤 崇輝

(指導教員 速水 治夫 教授)

1. はじめに

Facebook とは、2004 年に学生向けとして開始されたソーシャルネットワーキングサービス(以下、SNS)である。2006 年以降は一般にも公開され、現在では世界において 10 億人以上のアクティブユーザーを持つ世界最大の SNS^[1]となった。また、全ユーザの一人あたりの平均友達数は 130 人^[2]となっている。

ユーザは Facebook にログイン後、個人ページに遷移可能である。個人ページでは、ユーザごとの投稿が時系列で表示されるため、過去の投稿を閲覧したい場合には投稿を遡らなければならない。また Facebook で用いられているハイライト機能は、投稿者だけが設定可能であるため他者からの注目をはかることができない。

そこで、本研究では Facebook における投稿の注目度を、“いいね!”と“コメント”の要素を用いる。そしてユーザに対して注目された投稿を個人ページ上で表示するシステムの提案をし、試作した。

2. 試作システム概要

本研究では、入学、卒業、結婚、就職、旅行などに関する投稿を注目投稿とする。

投稿に付加された“いいね!”と“コメント”を用いることにより注目投稿を抽出する。そこで、“いいね!”と“コメント”の比率に着目した。用いた比率については評価実験にて後述する。これらを考慮した注目投稿を個人ごとに表示した(図 1 参照)。



図 1 注目投稿順に表示した個人ページ

3. 評価実験

“いいね!”と“コメント”の最適な比率を求めるために実験をおこなった。この実験では 100 件の投稿を対象とした。投稿に付加されたすべての“いいね!”と“コメント”を取得し、それらの比率を 1:1 としたものが基準とした。また、ワンクリックで簡単に付加できる“いいね!”に対し、“コメント”は書き込む手間が

あるため“コメント”に比重をおき実験をした。実験結果を表 1 に示す。

評価実験アンケートは、本学生 10 名に試作システムを利用してもらい 5 を最高とした 5 段階評価でおこなった(表 2 参照)。

表 1 実験結果

“いいね!” : “コメント”	注目投稿数
1.0 : 1.0	0
1.0 : 1.1	2
1.0 : 1.2	18
1.0 : 1.3	31
1.0 : 1.4	26
1.0 : 1.5	26

表 2 評価実験アンケート結果

評価項目	1	2	3	4	5	平均
上位に表示された投稿は注目されていたか	0	0	0	3	7	4.7
見逃していた投稿を見ることができたか	0	0	3	6	1	3.8

実験結果から“いいね!”と“コメント”の比率が 1.0 : 1.3 であるときの注目投稿数が最も多かった。これを最適な比率とし、試作システムで用いた。

評価実験アンケートの結果からは、上位に表示された投稿は注目されていたかという項目に対し平均 4.7 と高い評価を得たことにより問題点を解決できたと考える。

4. おわりに

本研究では Facebook における個人ページ上は投稿順だけで表示される点と、ハイライト機能は投稿者だけが設定可能な 2 点の問題の解決を目指し、“いいね!”と“コメント”を要素として注目投稿を抽出した。

今後の課題として、意見としていただいた試作システム上で“いいね!”と“コメント”の付加を可能とすることである。

参考文献

- [1] THE WALL STREET JOURNAL
<http://online.wsj.com/news/articles/SB10000872396390443635404578036164027386112>
[参照日 2014.2.8]
- [2] KISSmetrics
<http://blog.kissmetrics.com/facebook-statistics/>
[参照日 2014.2.8]

